



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社

コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 経営管理本部長兼経営企画部長 (氏名) 中 研悟 TEL 06-7655-5000

半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	10,021	8.6	27	-	110	-	△8	-
2024年3月期中間期	9,226	△5.7	△126	-	△26	-	△55	-

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △55百万円 (-%) 2024年3月期中間期 △19百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△0.08	-
2024年3月期中間期	△0.54	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	20,320	14,401	70.9
2024年3月期	22,021	14,558	66.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 14,401百万円 2024年3月期 14,558百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	1.00	1.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	8.2	880	59.3	1,000	62.0	580	157.5	5.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	101,295,071株	2024年3月期	101,295,071株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	538株	2024年3月期	537株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	101,294,534株	2024年3月期中間期	101,294,564株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう美と健康に関する多彩な商品・サービスを提供する『美の総合総社』の実現に向け、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品並びに、マタニティ及びベビー関連商品、婚礼・宴会関連事業、美容関連事業など、魅力ある商品・サービスの拡充を推進しております。

当中間連結会計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調で推移しました。

一方、長期化するロシア・ウクライナ情勢に加え、中国の景気不安や中東情勢の緊迫化などの地政学リスクに伴う資源価格の高騰や、金融資本市場の変動など、先行きは不透明な状況が続いております。

また、小売業界におきましては、物価は上昇傾向にあり、個人消費の持ち直しに足踏みが見られるなど、依然として厳しい経営環境のまま推移しました。

そのような状況のもと、婦人下着及びその関連事業においては、中長期的な成長を目指し、従業員満足度の向上及び人財育成のため、給与体系の見直しによる人件費の増加など、先行投資を実施いたしました。

一方、商品展開において、補整下着の最高峰シリーズ「Decorte Lumiés Idelat (デコルテ リュミエス イデラ)」の新色「Iderat Violet (イデラヴァイオレット)」(数量限定)の販売が計画を上回るペースで推移するなど、好調な売れ行きとなりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高100億21百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益27百万円(前年同期は1億26百万円の営業損失)、経常利益1億10百万円(前年同期は26百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失8百万円(前年同期は55百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの概要は次のとおりであります。

#### [婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売が主要事業であります。

当中間連結会計期間において、販売社員数の純増及び育成、会員制度の拡充(ダイヤモンドVIP会員制度の新設)など、顧客満足度の向上を図ったことで、リピート購入が伸びました。

商品展開において、2024年6月発売の「Liberdigne Pink (リベルディーニュ ピンク)」(数量限定)が予想を上回る売れ行きとなり、数量限定から定番カラーとしての展開を開始したことに加え、同年8月発売の「Decorte Lumiés Idelat (デコルテ リュミエス イデラ)」の新色「Iderat Violet (イデラヴァイオレット)」(数量限定)が、販売計画を上回るペースで推移いたしました。

さらに、補整ランジェリー「Maquigeriec (マキジェリック)」において、新色展開や商品ラインアップの拡充により販売が好調に推移し、同シリーズの売上高前年同期比は35.9%増となりました。

また、EC販売において、定期購入サービスの充実を図るとともに、店舗と連動した利用促進が奏功したことで、定期購入の売上高前年同期比は15.5%増となるなど好調に推移いたしました。

店舗展開においては、『MARUKO横浜東口店』(横浜市、2024年4月2日)を新規出店したほか、3店舗の移転・改装を行い、お客様にご満足いただける店舗づくりを推進いたしました。

以上の結果、売上高は88億4百万円(前年同期比7.8%増)、セグメント利益は1億87百万円(前年同期比715.9%増)となりました。

#### [マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当中間連結会計期間においては、国内出生数が統計開始以来、過去最少の見込みとなる厳しい状況で推移する中、「助産院監修シリーズ」などターゲット顧客層に効果的にアプローチする商品展開を拡充するとともに、商品の値引抑制を図ったことで、収益構造が改善しました。

さらに、SNSを中心にプロモーションを強化し、集客力が向上したほか、配送サービスの拡充に伴う顧客満足度の向上により、ECの売上高前年同期比は11.7%増となりました。

以上の結果、売上高は5億58百万円(前年同期比6.9%増)、セグメント損失は30百万円(前年同期は66百万円のセグメント損失)となりました。

#### [婚礼・宴会関連事業]

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの、飲食事業の運営が主要事業であります。

当中間連結会計期間においては、法人宴会を中心に宴会需要の取り込みが順調に推移するとともに、自社主催の

イベント実施などにより、売上が伸びました。

一方、中長期的成長を目指し、新施設『GRAND FESTA HAKATA』（福岡市、2024年7月1日グランドオープン）において、プロモーション及び人員拡充など、先行投資を実施いたしました。

以上の結果、売上高は3億67百万円（前年同期比59.9%増）、セグメント損失は1億16百万円（前年同期は78百万円のセグメント損失）となりました。

[その他]

その他においては、美容関連事業などが主要事業であります。

当中間連結会計期間においては、中長期的な成長を目指し、美容室FURUSHOにおいて、『FURUSHO栄店』（名古屋市、2024年4月23日）に加え、新たなコンセプトとなる韓国ビューティーのトレンドを取り入れたヘアサロン『ONDO』（大阪市、2024年8月30日）を出店したほか、採用の強化、育成に伴う人件費の増加など、先行投資を実施いたしました。

また、収益構造の見直しを進める中、不採算の業務委託型店舗3店舗（2023年6月に1店舗、2024年5月に2店舗）を閉鎖したことにより、前年同期に比べ、一時的に減収となりました。

以上の結果、売上高は3億17百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント損失は14百万円（前年同期は6百万円のセグメント損失）となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は145億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億92百万円減少いたしました。これは主に、商品の増加、短期貸付金の減少、現金及び預金の減少、売掛金の減少の結果によるものであります。

#### (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産は57億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物の増加及び無形固定資産の減少、退職給付に係る資産の減少の結果によるものであります。

#### (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は46億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億10百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少、買掛金の減少の結果によるものであります。

#### (固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債は12億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億33百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少の結果によるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は144億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億56百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失の計上及び剰余金の配当による利益剰余金の減少の結果によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は20億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ、4億85百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は2億30百万円（前年同期は1億6百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の減少2億3百万円、利息の受取額1億87百万円等による資金の増加、仕入債務の減少2億51百万円、未払金の減少1億59百万円及び利息の支払額1億26百万円等による資金の減少によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は7億95百万円（前年同期は3億28百万円の増加）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入50億50百万円等による資金の増加、貸付けによる支出40億50百万円及び有形固定資産の取得による支出1億75百万円等による資金の減少によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は15億11百万円（前年同期は1億97百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出12億74百万円及び配当金の支払額1億1百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,564,827	2,079,210
売掛金	6,151,077	5,946,158
商品	1,553,067	1,666,665
原材料及び貯蔵品	406,399	385,101
短期貸付金	1,000,000	—
関係会社短期貸付金	4,000,000	4,000,000
その他	639,672	558,123
貸倒引当金	△99,160	△112,181
流動資産合計	16,215,885	14,523,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,150,149	2,204,917
その他(純額)	1,646,446	1,636,308
有形固定資産合計	3,796,595	3,841,226
無形固定資産	294,810	243,232
投資その他の資産		
その他	1,795,142	1,793,036
貸倒引当金	△81,178	△80,454
投資その他の資産合計	1,713,964	1,712,581
固定資産合計	5,805,370	5,797,040
資産合計	22,021,255	20,320,118
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,519,274	1,267,878
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	2,146,019	1,523,245
未払法人税等	124,073	169,310
賞与引当金	50,000	130,200
ポイント引当金	88,000	92,000
株主優待引当金	208,030	131,047
資産除去債務	5,781	4,538
その他	1,329,234	1,291,311
流動負債合計	5,570,413	4,659,530
固定負債		
長期借入金	1,353,980	702,293
資産除去債務	482,425	502,417
その他	55,748	53,910
固定負債合計	1,892,155	1,258,620
負債合計	7,462,568	5,918,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	1,232,087	1,122,249
自己株式	△89	△89
株主資本合計	14,197,337	14,087,498
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	361,349	314,468
その他の包括利益累計額合計	361,349	314,468
純資産合計	14,558,686	14,401,967
負債純資産合計	22,021,255	20,320,118

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	9,226,411	10,021,970
売上原価	2,204,731	2,536,133
売上総利益	7,021,679	7,485,836
販売費及び一般管理費	7,147,682	7,458,508
営業利益又は営業損失(△)	△126,002	27,328
営業外収益		
受取利息	58,068	185,609
受取手数料	20,761	14,640
その他	25,380	7,453
営業外収益合計	104,211	207,703
営業外費用		
支払利息	287	110,894
その他	3,928	13,651
営業外費用合計	4,215	124,545
経常利益又は経常損失(△)	△26,007	110,486
特別利益		
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	1,403	—
その他	54	—
特別利益合計	1,458	—
特別損失		
固定資産売却損	—	8,522
減損損失	236	163
災害による損失	—	2,130
その他	717	2,969
特別損失合計	954	13,786
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△25,503	96,700
法人税、住民税及び事業税	65,438	122,232
法人税等調整額	△35,878	△16,988
法人税等合計	29,560	105,244
中間純損失(△)	△55,064	△8,543
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△55,064	△8,543



## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△55,064	△8,543
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	35,095	△46,881
その他の包括利益合計	35,095	△46,881
中間包括利益	△19,968	△55,425
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△19,968	△55,425
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△25,503	96,700
減価償却費	174,826	194,398
減損損失	236	163
長期前払費用償却額	9,082	7,773
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,420	12,297
賞与引当金の増減額(△は減少)	△162,936	80,200
ポイント引当金の増減額(△は減少)	9,000	4,000
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△96,456	△76,983
受取利息	△58,068	△185,609
支払利息	287	110,894
助成金収入	△1,403	—
災害による損失	—	2,130
有形固定資産売却損益(△は益)	—	8,310
売上債権の増減額(△は増加)	93,321	203,069
棚卸資産の増減額(△は増加)	△210,049	△92,300
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△23,499	△36,054
前払費用の増減額(△は増加)	265	6,433
未収消費税等の増減額(△は増加)	△68	36,288
仕入債務の増減額(△は減少)	271,418	△251,395
未払金の増減額(△は減少)	177,807	△159,472
未払費用の増減額(△は減少)	△30,795	87,852
前受金の増減額(△は減少)	△2,770	△10,197
未払消費税等の増減額(△は減少)	△110,951	73,314
その他	68,752	78,304
小計	62,073	190,119
利息の受取額	56,559	187,786
利息の支払額	△310	△126,663
法人税等の支払額	△226,249	△73,668
法人税等の還付額	—	52,891
助成金の受取額	1,403	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△106,523	230,465
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
関係会社貸付けによる支出	△2,000,000	—
関係会社貸付金の回収による収入	2,500,000	—
貸付けによる支出	—	△4,050,000
貸付金の回収による収入	—	5,050,000
有形固定資産の取得による支出	△111,162	△175,111
有形固定資産の売却による収入	—	4,000
資産除去債務の履行による支出	△16,492	△6,792
無形固定資産の取得による支出	△11,983	△30,570
差入保証金の差入による支出	△39,234	△5,557
差入保証金の回収による収入	13,774	12,365
その他	△6,353	△3,239
投資活動によるキャッシュ・フロー	328,548	795,094

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△50,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,274,461
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,844	△8,448
自己株式の取得による支出	△6	△0
配当金の支払額	△100,872	△101,284
株主優待費用による支出	△88,040	△76,983
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,764	△1,511,177
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	24,260	△485,617
現金及び現金同等物の期首残高	2,556,645	2,564,827
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,580,905	2,079,210

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,166,613	516,750	211,744	8,895,108	331,303	9,226,411
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	709	6,054	18,053	24,817	15	24,832
計	8,167,322	522,805	229,798	8,919,925	331,318	9,251,244
セグメント利益 又は損失(△)	22,962	△66,312	△78,618	△121,968	△6,195	△128,164

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	9,226,411
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	△24,832	—
計	△24,832	9,226,411
セグメント利益 又は損失(△)	2,161	△126,002

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,161千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,803,793	554,077	347,930	9,705,801	316,169	10,021,970
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,180	4,817	19,404	25,402	1,502	26,904
計	8,804,973	558,894	367,335	9,731,203	317,672	10,048,875
セグメント利益 又は損失(△)	187,354	△30,920	△116,909	39,523	△14,227	25,296

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	10,021,970
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	△26,904	—
計	△26,904	10,021,970
セグメント利益 又は損失(△)	2,032	27,328

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,032千円には、減価償却の調整額が含まれております。  
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。